

ロジャー ペン iN

取扱説明書



roger



A Sonova brand

PHONAK
life is on

目次

1.	ようこそ	4
2.	ロジヤーペンiNについて	6
2.1	箱の中身	6
2.2	ロジヤーペンiNの作動方法	7
2.3	機器の説明	8
2.4	インジケーター ライト(LEDの状態)	9
3.	はじめに	10
3.1	充電スタンドの設定	10
3.2	ロジヤーペンiNの充電	15
3.3	オンとオフの切替	18
3.4	ロジヤー受信機の使用	19
3.5	受信機の接続	20
4.	ロジヤーペンiNの使用	22
4.1	ストラップの取り付け	25
4.2	マルチメディア機器との接続	27
5.	特別な機能	29
5.1	ミュート	29
5.2	マニュアルマイクロホンモード	30
5.3	ロジヤー機器の接続切断(NewNet)	32
5.4	検証モード	32

6. 2つ目以降のマイクロホンの追加	34
6.1 接続	34
6.2 複数のマイクロホンの使用	37
7. トラブル対策	40
8. コンプライアンス情報	44
9. 記号の情報と説明	48
10. 安全に関する重要な情報	51
10.1 危険警告	51
10.2 製品の安全に関する情報	54
10.3 その他の重要な情報	55
11. サービスと保証	56
11.1 日本国内における保証期間	56
11.2 国際保証	56
11.3 保証適用範囲	57

1.ようこそ

フォナックのロジャー・ペ恩 iN を選んでいただきありがとうございます。難聴を抱えていても、最先端を行くこの汎用ワイヤレスマイクロホンをご使用になれば、騒音下や離れた距離でもことばの理解が向上します。ロジャー・ペ恩 iN は目立たないよう配慮のうえ設計され、適応ワイヤレス送信、全自動設定、テレビの接続性、マルチメディア用の音声入力も用意されています。また、マイクロホンネットワークを介し、他のロジャー・マイクロホンと一緒に使用することもできます。

ロジャー・ペ恩 iN は、世界有数の聴覚ヘルスケア会社のフォナックが開発した、プレミアムクラスの品質のスイス製品です。

この取扱説明書をよくお読みになり、ロジャー
ペン iN が提供する機能を十分にご活用ください。

ご不明な点は、担当の聴覚専門家やお近くのフォナック
サポートセンターにお尋ねください。

Phonak – life is on

www.phonak.com



CE

2.ロジヤー ペン iNについて

2.1 箱の中身



ロジヤー ペン iN



充電スタンド



電源(国別アダプターと
充電ケーブルを含む)



保管ポーチ



ストラップ



充電スタンド用音声
ケーブル



マイクロ USB
音声ケーブル(旅行用)



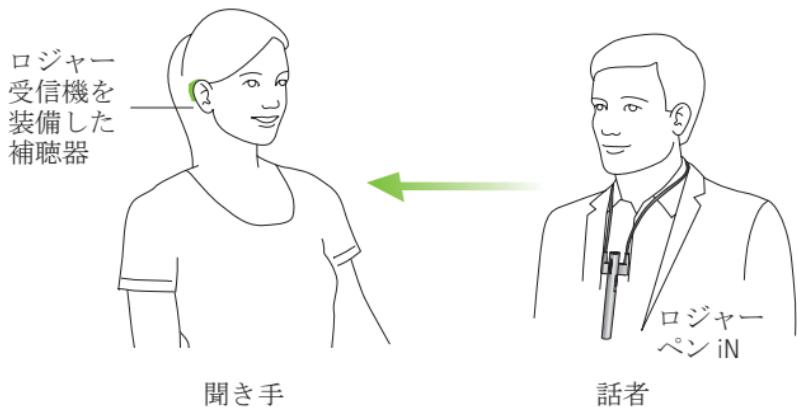
テレビまたは HiFi
用 RCA/シンチ
アダプター



クイック セットアップ
ガイド

2.2 ロジャー ペン iN の作動方式

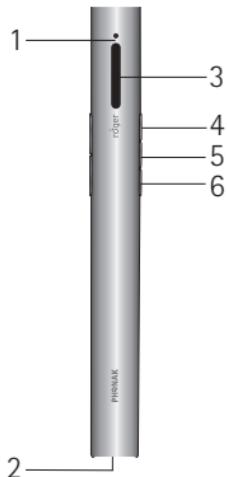
ロジャー ペン iN は話者の声をユーザーの耳に直接送信します。



一般的に、ロジャー ペン iN と補聴器は、両者間の距離が 10メートル以内であれば作動します。ただし、両者間に人体や壁があると、この距離は短くなる場合があります。距離が最長になるのは、ロジャー ペン iN が視界(視線の先)にある場合です。

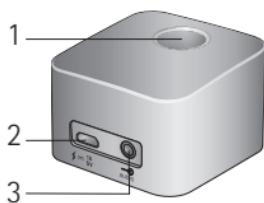
2.3 機器の説明

ロジヤー ペン iN



- 1 インジケーター ライト(LED)
- 2 充電用端子と音声入力
(ミニ USB)
- 3 マイクロホン
- 4 オン/オフ/ミュート
- 5 接続
- 6 マイクロホン モードの変更

充電スタンド



- 1 ロジヤー ペン iN 用スロット
- 2 充電用端子(マイクロ USB)
- 3 音声入力(3.5mm ジャック)

2.4 インジケーター ライト(LED の状態)

インジケーター ライト	意味
	スイッチオン
	電源オフ
	電源オフ
	音声入力を検出
	マイクロホン/音声入力のミュート
	充電中
	完全に充電
	電池低容量 - ロジャーイン を充電してください
	通話がアクティブ
	ロジャーインと他のマイクロホンの接 続が失われました。接続ボタンを押して、 ネットワークを初期化してください。

3.はじめに

3.1 充電スタンドの設定

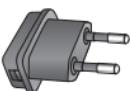
ロジャー・ペンIN充電スタンドは、マイクロホンを充電する際と、テレビなどのオーディオ機器から補聴器に音声を送信する際のどちらにも使用します(ロジャー・ペンINは充電スタンドのスロットに挿入する必要があります)。

電源の設定

1. お住まいの国に適した電源アダプターを選択します。



米国



EU



英国



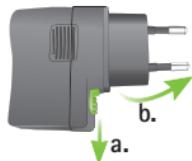
オーストラリア

2. アダプターの上端(丸い端)を、ユニバーサル電源の上端に差し込みます。
3. カチッと音がするまで、アダプターの底部を所定の位置にはめ込みます。



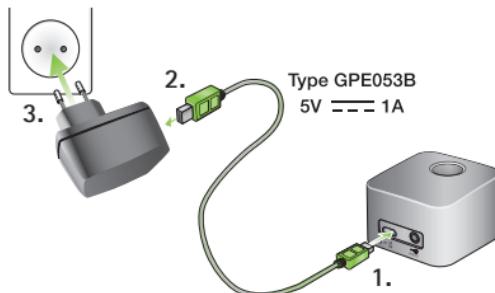
取り外し/取り替え

- ユニバーサル電源のつまみを引き抜きます。
- アダプターを静かに上方に持ち上げて外します。
- 手順1(左記)をもう一度やり直します。



充電スタンドに電源を接続

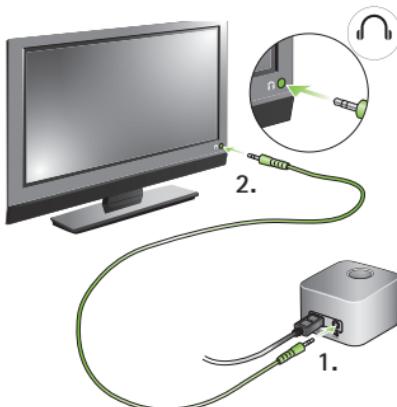
- テレビ/オーディオ機器の隣に充電スタンドを置き、充電スタンドの電源入力 $5V - 1A$ に充電ケーブルの小さいほうの端を接続します。
- 充電ケーブルの大きい方の端をユニバーサル電源に差し込みます。
- 接続しやすい場所にある電源コンセントに電源を差し込みます。



充電スタンドをテレビ/オーディオ機器に接続

1. 充電スタンドの音声入力に音声ケーブルを差し込みます: 

2. 音声ケーブルのもう一方の端部を、テレビ/オーディオ機器のヘッドフォン出力に接続します。



または、音声ケーブルのもう一方の端部を、テレビのシンチ/RCA アダプターに接続します。赤と白のプラグとテレビ側の赤と白の出力ソケットを、同じ色同士で接続します。



別の方法として、SCART アダプターを介して接続することもできます。SCART アダプターは、電気店や担当のフォナック代理店から購入できます。

音声ケーブルのもう一方の端部を、SCART アダプターに接続します。

テレビ側の空いている SCART 出力ソケットに SCART アダプターを差し込みます。

テレビにアナログの音声出力がない場合、デジタルからアナログに変換するコンバータが必要です。このコンバータは、電気店、または場合によっては担当のフォナック代理店で購入できます。



- ① 充電スタンドをテレビのヘッドセットソケットに差し込んだら、テレビのリモコンでボリュームを調整することができます。
- ① 一部のテレビは、ヘッドセットソケットにジャックを差し込むとスピーカーがオフになり、周囲の人に音が届きません。このような場合は、前記のようにシンチ/RCA または SCART 出力ソケットを使用してください。
- ① ロジャーペン iN の充電スタンドは、MP3プレーヤー、PC、HiFi システムなど、どのようなオーディオ機器にも音声ケーブルで接続することができます。

3.2 ロジャー ペン iN の充電

ロジャー ペン iN には、高速充電可能な内蔵リチウム ポリマー電池が内蔵されています。

充電するには、ロジャー ペン iN を充電スタンドに挿入します。インジケーター ライトがオレンジ色に変わり、充電中であることを示します。



- ① ロジャー ペン iN は、図のように充電スタンドに挿入します。正しく挿入しないと損傷するおそれがあります。

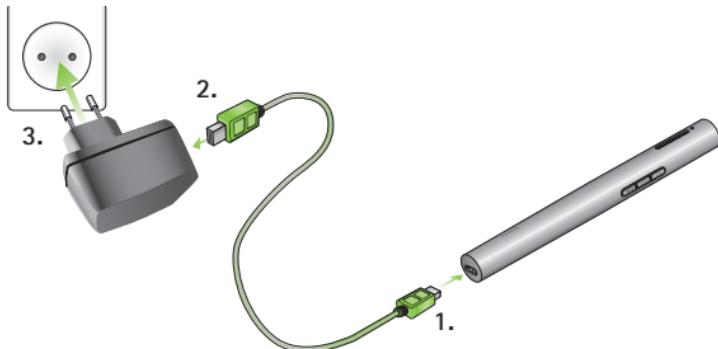
空の電池は、約 2 時間で最大限に充電されます。充電が完了すると、インジケーター ライトが緑色に点灯した状態になります。

- ① ロジャー ペン iN をはじめて充電する際は、短くても2 時間は充電してください。たとえ電池インジケーター ライトが2時間より前に消灯したり緑色に点灯したとしても、充電を続けてください。

ロジヤーペン iN は、充電スタンドを使用しなくても充電可能です。この方法は、旅行時に便利です。

マイクロ USB ケーブルの使用

1. 充電ケーブルの小さい方の端(マイクロ USB)をロジヤーペン iN に差し込みます。
2. 充電ケーブルの大きい方の端(USB)を電源に差し込みます。
3. 接続しやすい場所にある電源コンセントに電源を差し込みます。



- ① ご使用のコンピューターの USB ポートの1つに、充電ケーブルでロジャー・ペン iN を接続して充電することもできます。
- ② 充電ケーブルをコンピューターの USB ポートと充電スタンドに同時に接続すると、ロジャー・ペン iN の充電はできません。

インジケーター ライト(電池の状態)

インジケーター ライト 意味



充電中



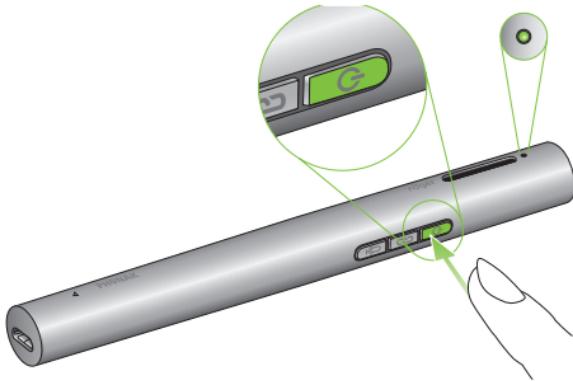
完全に充電



電池低容量 - ロジャー・ペン iN
を充電してください。補聴器でも
ビープ音が鳴ります。

3.3 オンとオフの切替

ロジヤーペン iN をオンにするには、インジケーターライトが緑に変わるまで、オン/オフ ボタン  を1秒押します。



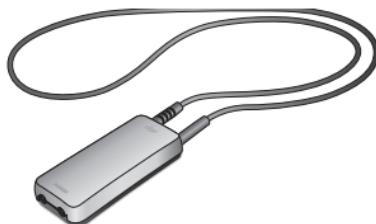
インジケーター ライト(スイッチ オンの状態)

インジケーター ライト	意味
	電源オン
	スイッチ オン

3.4 ロジャー受信機の使用

ロジャー マイリンクの使用

ロジャーマイリンクを受信機としてご使用の場合、ロジャーマイリンクをオンにし首に掛けます。補聴器は、かならずT/MT/Tコイルモードに設定します。



ロジャーマイリンクの使用方法は、『ロジャーマイリンク取扱説明書』に詳述されています。

補聴器に接続されたロジャー受信機の使用

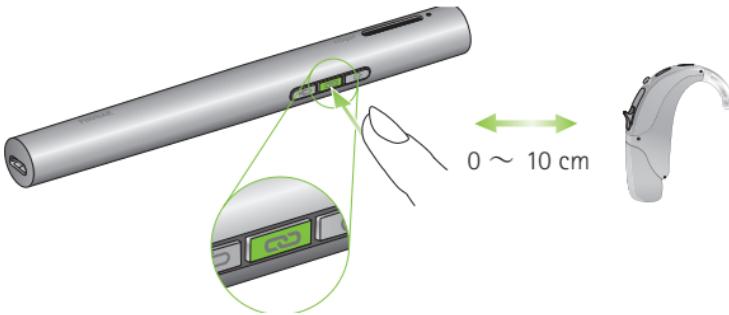
補聴器にロジャー受信機が直接装着されている場合、受信機が正しく装着され、両方の補聴器が Roger/FM/DAI/EXT/AUX プログラムに設定されていることを確認してください。



3.5 受信機の接続

担当の聴覚専門家が、補聴器にロジャー・ペン iN をすでに接続済みかもしれません。接続が済んでいない場合、以下の手順で受信機をロジャー・ペン iN に接続してください。

1. ロジャー・ペン iN とロジャー受信機が両方とも電源が入っていることを確認します。
2. ロジャー・ペン iN をロジャー受信機から 10cm 以内のところで持ちます。
3. ロジャー・ペン iN の接続  ボタンを押します。



正常に接続されると、インジケーター ライトが 2 秒間
緑色に点灯します。

4. 2つ目の受信機を接続するには、手順2と3を繰り返します。

① ロジャー ペン iN に接続できるロジャー受信機の数
に制限はありません。

インジケーター ライト(接続状態)

接続ボタンを押すと、インジケーター ライトに状態
が次のように表示されます。

インジケーター ライト 意味



接続



接続成功 - ロジャー受信機がロジャー
ペン iN に接続されました。



ロジャー ペン iN がロジャー受信機を検
出できませんでした。ロジャー ペン
iN をロジャー受信機の近くに移動し、
ロジャー受信機の電源が入っているこ
とを確認してください。その後もう一
度接続してみてください。



ロジャー受信機とお使いのロジャー ペ
ン iN との間に互換性がありません。

4. ロジャー ペン iN の使用

ロジャー ペン iN は柔軟性の高いインテリジェントな製品です。そのときそのときの状況を検出し、マイクロホン設定を自動的に適応させて最良のことばの理解を提供します。

ロジャー ペン iN は、下記のいずれかのスタイルで使用してください。

会議スタイル

複数の人の話が聞けるように、ロジャー ペン iN をテーブルの真ん中に置きます。



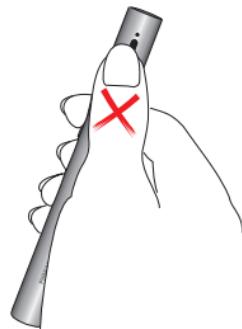
- ① レストランや騒々しいバーなど騒音下の環境では、目的の話者の方に向かってマイクを向けるとより高い効果を得られます。詳細は、次の章も参照してください。

インタビュースタイル

ロジャー ペン iN を手に持って、目的の話者に向けてください。



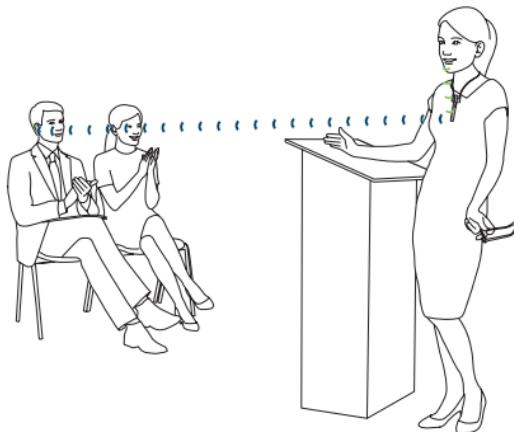
- ① ロジャー ペン iN は、かならず話者の口にまっすぐ向けてください。



- ① ロジャー ペン iN を手に持つ際、マイクロホンの開口部をふさがないようしてください。

首掛けスタイル

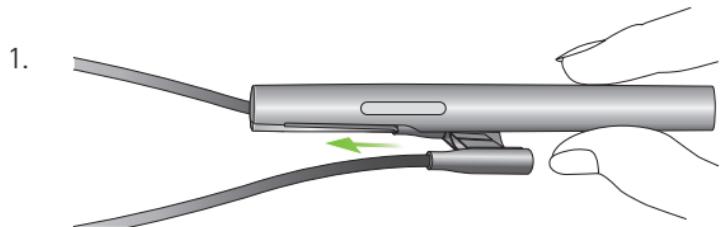
ロジャー・ペンINのストラップ(ネックループ)を使用して、目的の話者の首に掛けてください。



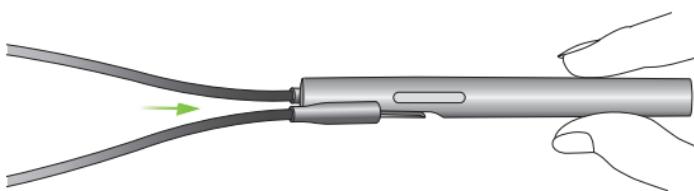
- ① ロジャー・ペンINをマニュアルでマイクロホンモードに設定する場合、「特殊な使用例/マニュアルマイクロホンモード」(30ページ)を参照してください。

4.1 ストラップの取り付け

ストラップのプラスチック部分をロジャーペン IN のクリップ(1)に挿入してスライドし、完全にはめ込みます(2)。

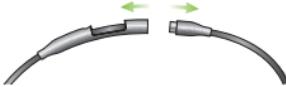


外すには、ストラップを引いてクリップから離します。



首に掛ける

1. 磁石を引き離しストラップを開きます。
2. ロジャー・ペン iN を話者の首に掛け、ストラップを閉じます。
3. ロジャー・ペン iN が口の近くにくるようストラップの長さを調整します。ロジャー・ペン iN と口の間の距離は20cm以内にする必要があります。
4. ケーブルを隙間に引き込みワイヤを固定します。



4.2 マルチメディア機器との接続

ロジャー・ペン iN をテレビ、タブレット、HiFi などの音源に接続し、補聴器で音声信号を直接聞くことができます。

充電スタンド経由

「はじめに」(12ページ)の説明のように、充電スタンドの電源がオンで、目的の音源に適切に接続されていることを確認します。ロジャー・ペン iN を充電スタンドのスロットに挿入します。音源をオンにすると、ロジャー・ペン iN が音声信号の存在を自動的に検出し送信を始めます。



- ① 充電スタンドの電源がオフでも、ロジャー・ペン iN は外部の音声信号を検出して送信できます。ロジャー・ペン iN だけはかならずオンにしてください。
- ② ロジャー・ペン iN で音声信号を送信するとき、マイクロホンはミュートになります。

マイクロ USB 音声ケーブル経由

別の方法として、短いマイクロ USB 音声ケーブルを使
用し、マルチメディア装置をロジャー・ペン iN に直接
接続することもできます。

1. マイクロ USB 音声ケーブルの
丸い端部を、マルチメディア
装置のヘッドフォン出力
に差し込みます。

2. マイクロ USB ケーブルの長方形の端部
(マイクロ USB)を、
ロジャー・ペン iN のソケ
ットに差し込みます。



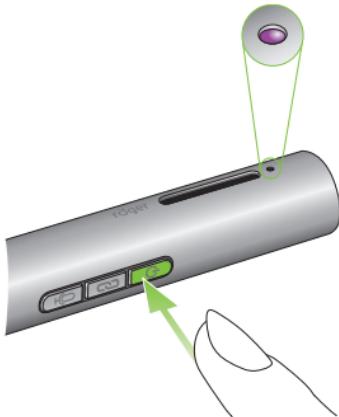
① 補聴器に音声信号を送信するには、
ロジャー・ペン iN のスイッチはオンで
なければなりません。装用者がマル
チメディア装置の音声信号をアクテ
ィブにすると、ロジャー・ペン iN はこ
の信号を検出し、マイクロホンを自
動的にミュートします。

5.特別な機能

5.1 ミュート

ロジヤーペンINのマイクロホンまたは音声信号をミュートにするには、オン/オフボタンを強く押します。

ミュートのとき、インジケーター ライトは紫色に点灯した状態になります。



ロジヤーペンINのマイクロホンまたは音声入力のミュートを解除するには、もう一度オン/オフボタンを強く押します。

インジケーター ライト(ミュート)

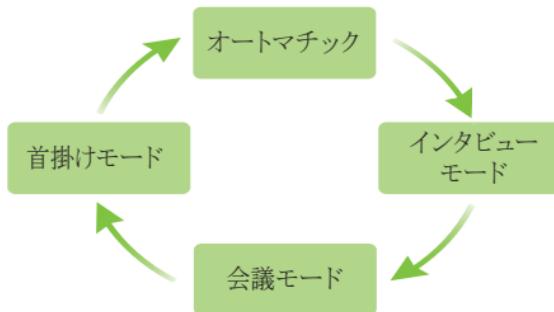
インジケーター ライト 意味

 マイクロホン/音声入力ミュート

5.2 マニュアルマイクロホンモード

自動的に選択されたマイクロホンモードの変更は、マニュアル操作で行うことができます。

ロジャー・ペン iN にはマニュアルのマイクロホンモードが3種類あり、マイクロホンボタンを押すたびに切り替えることができます❾。



ロジヤーペンINの現在のマニュアルマイクロホンモードは、下記のようにインジケーターライトで示されます。

インジケーターライト 意味

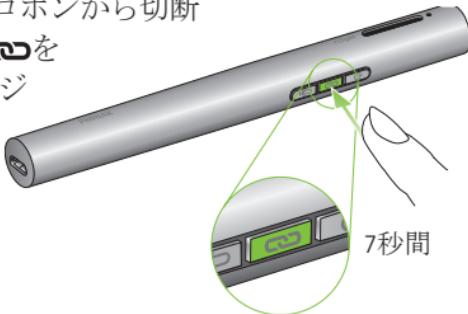
●	インタビュー モード。1人の特定の話者にロジヤーペンINを向けて聞く場合、このモードを選択します。周辺の雑音や周囲にいる人の声が小さくなります。
●●	会議モード。全方向から声を拾う場合(同じテーブルにいる複数の友人など)、このモードを選択します。
●●●	首掛けモード。騒音下で1人の特定の話者を聞く場合、話者の首に掛けるのが最適な使用法です。口から20cm以内にくるように掛ける必要があります。
●	オートマチック モード

ロジヤーペンINのモードが首掛けモードのときにマイクロホンボタンをもう一度押すと、オートマチックモードになります。

5.3 ロジャー機器の接続切断(NewNet)

ロジャー・ペンINを接続されている受信機やその他のロジャー・マイクロホンから切断するには、接続ボタンを7秒間長押しします。ロジャー・ペンINが接続されているすべての機器から切断されると、インジケーター・ライトがオレンジ色に変わります。

この時点で、ロジャー受信機やロジャー・マイクロホンとロジャー・ペンINの再接続を開始することができます。



5.4 検証モード(聴覚専門家専用)

検証モードは、聴覚専門家がロジャーPOP(ロジャー・オフセット・プロトコル)に従い機器を検証するために使用します。

検証モードをアクティブにするには、接続ボタンを5回続けて押します。

インジケーター ライト(検証モード)

インジケーター ライト 意味



検証モードがアクティブ

- ① 検証モードは、ロジャー ペン iN をオンにして60秒以上経過するとアクティブにすることができません。
- ② ロジャー ペン iN をオフにすると、検証モードは自動的に解除されます。

リセット

ロジャー ペン iN がコマンドに応答しなくなったら、
オン/オフ ボタン  とマイク ボタン  を同時に10秒間長押しするとリセットできます。

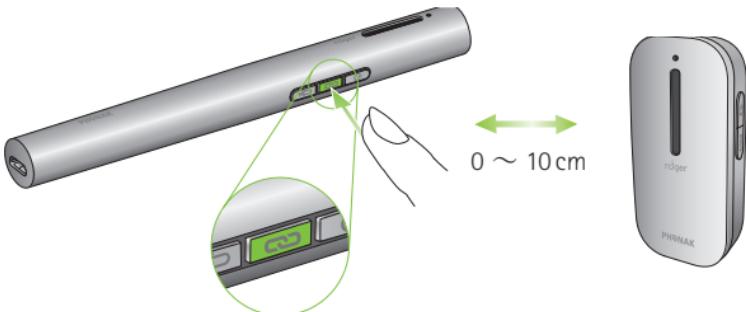
6.2 つ目以降のマイクロホンの追加

ロジャーの技術では、ロジャー マイクロホンを追加接続し、複数のマイクロホンを同時に使用することが可能です。

6.1 接続

ロジャー ペン iN に別のマイクロホンを接続するには、次の手順に従ってください。

1. 両方のマイクロホンの電源を入れます。
2. 2つのマイクロホンを互いに近づけます(10cm 以内)。
3. ロジャー ペン iN の接続ボタン  を押します。



両方のマイクロホンのインジケーター ライトがどちらも2秒間グリーンに変わり、正常に接続されたことを示します。

- ① ロジャーマイクロホンは、ロジャー・ペ恩 iN に10個まで追加接続することができます。
2つ目のロジャー・ペ恩 iN は首掛けモードに固定され、話者の20 cm以内に配置する必要があることに注意してください。
- ① お使いのロジャー・ペ恩 iN に別のロジャー・ペ恩 iN を接続する場合、はじめに2つ目のロジャー・ペ恩 iN の Bluetooth を無効にしないと接続できません。
2つ目のロジャー・ペ恩 iN は首掛けモードに固定され、話者の20 cm以内に配置する必要があることに注意してください。
- ① 他のマイクロホンとロジャー・ペ恩 iN の接続を切断する場合、NewNet 機能(32ページの「特別な機能」を参照)を使用してください。

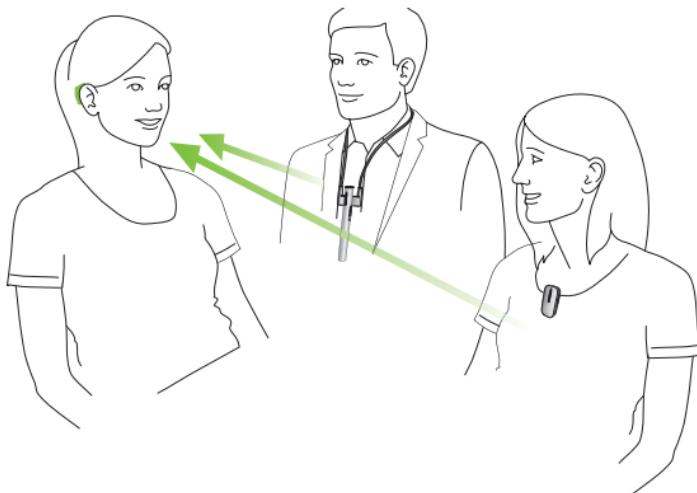
インジケーター ライト(接続状態)

接続ボタンを押すと、インジケーター ライトに状態が次のように表示されます。

インジケーター ライト	意味
	接続成功 - 他のロジヤーマイクロホンがお使いのロジヤーペンiNに接続されました。
	ロジヤーペンiNが別のロジヤーマイクロホンを検出できませんでした。ロジヤーペンiNを別のロジヤーマイクロホンの近くに移動し、両方のスイッチが入っていることを確認します。その後もう一度接続してみてください。
	他のロジヤーマイクロホンがお使いのロジヤーペンiNに対応していないか、他のロジヤーペンiNのBluetoothがまだ有効になっていません。お使いのロジヤーマイクロホンのソフトウェアをアップデートするか、2つ目のロジヤーペンiNのBluetoothを無効にしてください。

6.2 複数のマイクロホンの使用

ロジヤーマイクロホンを話者に渡してください。
正しく装用していることを確認してください(口に向け、
20cm 以内の距離)。ロジヤーペン iNは、テーブルに置い
たり手に持ったりして話者に向けてもかまいません。
ロジヤーマイクロホンは友人やパートナーの発話を自動
的に検出し、即座にその声を補聴器に送信します。
話者が一時的に席を外す場合、オン/オフ ボタン  を強く
押し、マイクロホンをミュートにする必要があります。



- ① 一度に聞くことができる話者は1人だけです。2人が同時に話すと、最初の話者の声だけが聞こえます。
2人が話すのをやめると、別の話者の声が聞こえます。

- ① ネットワークに問題がある場合は、いずれかのマイクロホンの接続ボタンを押して、ネットワークを初期化してください。

インジケーター ライト(複数マイクロホン接続状態)
複数のロジヤーマイクロホンを使用しているときには、
インジケーター ライトに状態が次のように表示されます。

インジケーター ライト 意味



オートマチック モード



ロジヤーペン iN が首掛けモード
に固定されています。話者がロジ
ヤーペン iN を首に掛けるのが最
適な使用法です。口から20 cm 以
内にくるように掛ける必要があります。



ロジヤーペン iN がミュートにな
っています。オン/オフ ボタン  を押してミュートを解除します。



ロジヤーペン iN と他のマイクロ
ホンの接続が失われています。
接続ボタンを押しネットワークを
初期化します。

7. トラブル対策

問題	原因
ロジヤー・ペンiNをオンにできない	電池が残っていない
話者が何を言っているのかわからない	マイクロホンの位置が不適切
ロジヤー・ペンiNのスイッチは入っているのに、話者の声が聞こえない	指や衣服がマイクロホンの開口部をふさいでいる マイクロホンがミュートモードになっている
音声信号が聞こえない状態が継続する	補聴器が正しいプログラムに設定されていない ロジヤー受信機がロジヤー・ペンiNに接続されていない ロジヤー・ペンiNがネットワークに接続されている
マルチメディア機器の音量が低すぎる	ロジヤー・ペンiNとロジヤー受信機の距離が離れ過ぎている ユーザーとロジヤー・ペンiNの間に障害物がある 不適切な音量設定

対応

ロジヤー ペン iN を2時間以上充電してください

ロジヤー ペン iN を話者の口に近づけてください

ロジヤー ペン iN が話者の口に向いているか確認してください

指や衣服、ほこりがマイクロホンの開口部をふさいでいないことを確認してください

インジケータライトを確認し、紫色の場合、オン/オフボタンを軽く押してマイクロホンをアクティブにしてください

補聴器が正しいプログラム(Roger/FM/DAI/EXT/AUX)に設定されているか確認してください

ロジヤー ペン iN を各ロジヤー受信機に順番に近づけて接続ボタンを押してください

ロジヤー ペン iN の接続ボタンを押してください

ロジヤー ペン iN に受信機を近づけてください

ロジヤー ペン iN が見えるよう移動してください(視線の先)

音源のボリュームを上げてください

問題	原因
マルチメディア機器の音が聞こえない	音源がミュートになっている
ロジャー・ペンiNのスイッチが入っているが、インジケーターライトが青で点滅している	ロジャー・ペンiNでマイクロUSB音声ケーブルを使用しているが、スイッチが入っていない
ロジャー・ペンiNが赤で点滅している(二重点滅)	ロジャー・ペンiNがネットワークに接続されている
ロジャー・ペンiNの動作が止まった	電池残量が低下
ロジャー・ペンiNを別のロジャー・マイクロホンに接続できない	ソフトウェアの問題
追加したマイクロホン(1つまたは複数)から音声が聞こえない	ソフトウェアに互換性がない
ロジャー・ペンiNがコンピュータやテレビの近くにあり、WiFi信号の接続速度が遅く感じる	マイクロホンのスイッチがオフになっている マイクロホンの位置が不適切
	マイクロホンのネットワークが壊れている
	WiFiルーターがコンピュータから離れており、一方でロジャー・ペンiNがコンピュータやテレビに接近している

対応

音源のミュートを解除してください

ロジャー・ペ恩 iN のスイッチを入れ、マイクロ USB 音声ケーブル経由で音源を聴いてください

ロジャー・ペ恩 iN の接続ボタンを押してください

できるだけ早くロジャー・ペ恩 iN を充電してください

オン/オフボタン、マイクロホンボタン、許可ボタン、拒否ボタンを同時に押しロジャー・ペ恩 iN を再起動してください

フォナックのウェブサイトで入手可能な Roger Upgrader を使用してすべてのロジャー・マイクロホンをアップグレードするか、最寄りのフォナック代理店にお問い合わせください

マイクロホンをすべてオンにしてください

ロジャー・マイクロホンは、かならず口の近くで持つか装用するようにしてください。

1つのマイクロホン上で接続ボタンを強く押して、ネットワークを初期化してください

コンピュータやテレビからロジャー・ペ恩 iN を1m 以上離してください

8. コンプライアンス情報

欧州:

適合宣言

本製品が無線機器指令2014/53/EU に準拠していることを Phonak Communications AG はここに宣言します。EU 適合宣言の全文については、製造業者または地域のフォナック代理店、または www.phonak.com から入手できます。

動作周波数: 2400 – 2483.5 MHz

出力レベル: < 100 mW

オーストラリア/ニュージーランド:



R-NZ

ニュージーランドおよびオーストラリアでの合法販売について、適用される電波スペクトル管理(RSM)およびオーストラリア通信メディア庁(ACMA)の規制協定への機器の準拠を示します。

準拠ラベル R-NZ は、適合レベル A1においてニュージーランド市場で供給される無線製品を対象とします。

注記1:

本機器は、FCC 規則第 15 部およびカナダ産業局のライセンス免除の RSS 規格に準拠しています。

本機器の動作には、次の2つの条件が必要です。

- 1) 本機器が干渉を生じないこと、および
- 2) 本機器が機器の好ましくない動作を生じる可能性のある干渉を含むあらゆる干渉を受け入れること。

注記2:

本機器に対し、Phonak Communications AG によって明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本機器の操作に対する FCC の認可が無効になることがあります。

注記3:

本機器は FCC 規則第15部およびカナダ産業局の ICES-003に従ってクラス B デジタル機器に対する制限事項に対して試験されており、それに準拠することが確認されています。

これらの制限事項は、住宅への設置において有害な干渉から合理的に保護されるように設計されています。本機器は無線周波エネルギーを生成し、使用し、また無線周波エネルギーを放射する可能性があり、指示に従って設置され、使用されない場合には無線通信に有害な干渉を生じことがあります。ただし、その干渉が特定の設置で発生しないという保証はありません。機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じる場合、これは機器の電源を切ってまた投入するとわかりますが、ユーザーは以下の手段いずれかによって干渉を是正するよう奨励されます。

- 受信アンテナの向きを変えるか位置を変える。
- 機器と受信機の距離を離す。
- 機器を受信機が接続されているのとは違う回路で出力に接続する。
- 取扱店または専門のラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

注記4:

日本の電波法に準拠。事業法に準拠。本機器は、日本の電波法(電波法)に準拠すると認定されています。本機器を改造しないでください(改造すると認可された指定番号が無効になります)。

注記5:

FCC/カナダ産業局 RF 放射線被ばく声明本機器は、非管理環境に対して設定された FCC RF 放射線被ばく限界に準拠しています。この送信機を他のいかなるアンテナや送信機とも同じ場所に配置したり、同時に動作させたりしないでください。

9. 記号の情報と説明



CE マークは、Phonak Communications AG によって本製品が無線機器指令 2014/53/EU に準拠していることを確認するものです。



このシンボルは、ユーザーがこの取扱説明書の関連情報を読んで考慮することの重要性を示しています。



機器の製造業者を示します。



このシンボルは、ユーザーがこの取扱説明書の関連する警告内容に注意を払うことの重要性を示しています。



製品の安全性および取り扱いに関する重要な情報です。

動作条件

機器は、本取扱説明書で別に記載のない限り、目的通りに使用されれば問題や制限なく機能するように設計されています。



搬送温度と保管温度: -20° ~ +60°C
動作温度: -0° から +40°C。



濡れないようにしてください。



搬送および保管時の湿度: <90%
(結露なし)。動作湿度: <90%
(結露なし)。



気圧: 200 hPa ~ 1500 hPa。



製品やその梱包上にこのマークがある場合、これは他の家庭ごみと共に廃棄できないことを意味します。機器はユーザー自身の責任で市の廃棄物とは別に廃棄してください。古い電化製品を正しく廃棄すれば、環境や人の健康に悪影響をもたらさないようにできます。本製品には、内臓された交換できない電池があります。製品を開けたり、電池を取り出そうとしないでください。けがをしたり、製品を損傷することがあります。電池の取り出しについては、地域の再生利用施設にお問い合わせください。

10. 安全に関する重要な情報

機器の使用前に、以降のページに記載されている情報をお読みください。

10.1 危険警告

- △ 本機器は、3歳未満のお子様にはご利用いただけません。お子様が飲み込むとのどに詰まってしまうような小さな部品があります。お子様や知的障害者、ペットなどの手の届かないところに保管してください。飲み込んでしまった場合は、直ちに医師または病院の診察を受けてください。
- △ 本機器は、磁場を発生させる場合がありますロジャー・ペンiNが植込み型機器(ペースメーカー、除細動器など)に影響を及ぼした場合には、ロジャー・ペンiNのご使用をやめ、医師または植込み型機器の製造業者にお問い合わせください。

- △ ユーザーに合わせて聴覚専門家が特別にプログラムした補聴器のみをお使いください。
- △ 電気部品は、地域の規制に従って廃棄してください。
- △ Phonak Communications AG によって明示的に承認されていない本機器のあらゆる部分への変更または改造は禁止されています。
- △ Phonak Communications AG が承認したアクセサリーのみを使用してください。
- △ Phonak Communications AG により提供する充電器は、ロジャー・ペニン iN を 5000 m 以下の高度で充電するために使用可能です。安全上の理由から、Phonak Communications AG が提供する充電器または認証した充電器だけを 5 VDC 定格、2000 mA 以下、2000 m 以下の高度で使用してください。

- △ 機器は爆発性領域(鉱山や爆発の危険のある工業地域、酸素が豊富な環境や引火性の麻酔薬を取り扱う場所など)や、電子機器が禁止されている場所では使用しないでください。
- △ 機器を開けると損傷する可能性があります。本取扱説明書のトラブル対策セクションの是正措置に従っても解決できない問題が発生する場合は、聴覚専門家にご相談ください。
- △ 機械を操作するときは、ご利用の機器のいかなる部分も機械に挟まったりしないようにしてください。
- △ 機器を装用しているときは充電しないでください。

10.2 製品の安全に関する情報

- ① 機器のコネクタ、プラグ、電源は汚れや堆積物から保護してください。
- ① 機器を各種ケーブルに接続するときは、力を入れすぎないように気を付けてください。
- ① 機器は過剰な湿気(浴場や遊泳区域)や熱源(ラジエーター)から保護してください。機器を過剰な衝撃や振動から保護してください。
- ① 機器は、湿らせた布で掃除してください。機器の掃除には、家庭用洗剤(粉末石鹼、石鹼など)やアルコールを決して使用しないでください。電子レンジやその他の加熱機器を使用して機器を乾燥させることは決してしないでください。
- ① X線放射、CT、MRIスキャンによって機器の正しい機能が破壊されたり、悪影響が及ぶことがあります。

- ① 機器を落としたり損傷させたり、過熱したり、コードやプラグが損傷していたり、液体の中に落としてしまったりした場合は、機器のご使用をやめ、公認サービスセンターにお問い合わせください。

10.3 その他の重要な情報

- ① 機器やテレビに接続するときは、Toslink ケーブルから出力される光から目を保護してください。
- ① 高出力電子機器、大型の電子装置、金属構造は、機器の動作範囲を損なったり、大きく低下させることができます。
- ① 機器は内部技術データを収集し、保存します。聴覚専門家は、このデータを読み出して機器をチェックし、ユーザーが機器を正しく使用できるようにすることができます。
- ① 機器から接続された受信機に送信されるデジタル信号は、マイクロホンのネットワークに入っていない他の機器には伝わりません。

11. サービスと保証

11.1 日本国内における保証期間

日本国内における保証期間については、機器を購入した聴覚専門家にお問い合わせください。

11.2 国際保証

フォナックでは、ご購入日から1年間有効の限定国際保証を提供しています。この限定的保証は、製造上および材料上の欠陥を対象とします。また、購入証明が掲示された場合にのみ有効です。

国際保証は、日本国内における保証や消費者製品の販売を管理する適用可能な国の法令の下にユーザーが有する法的権利には一切影響しません。

11.3 保証適用範囲

本保証は、不適切な取り扱いやお手入れ、化学薬品への暴露や浸水、過度の負担によって生じた損傷には適用されません。第三者または公認でないサービスセンターによって損害が生じた場合、保証は無効となります。本保証は、聴覚専門家がオフィスで行うサービスには適用されません。

シリアル番号: _____

購入日: _____

公認聴覚専門家(捺印/署名):

メモ



Phonak Communications AG
Länggasse 17
CH-3280 Murten
Switzerland
www.phonak.com

sonova
HEAR THE WORLD

029-0754-17/N1.00/2019-04/NLG © 2019 Sonova AG All rights reserved

